

OBM マンスリー

2012.4月号 Vol.144

2012年4月25日発行

編集・発行

一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会

大阪市北区中津1-2-19 新清風ビル2F

TEL 06-6372-9120 FAX 06-6372-9145

Eメール info@obm.or.jp

ホームページ www.obm.or.jp

そこが知りたい Q&A エコアクション (EA) 21 について



最近、「エコアクション21」という言葉をよく耳にします。経営委員会のアンケート調査では、エコアクション21を「知っている」が25社、「聞いたことがある」が34社でした。ビルメンテナンス業界も環境保護を抜きには考えられなくなっています。エコアクション21とは何か？ 経営委員会の柑本敏雄委員長（写真）にインタビューしました。

Q エコアクション21のアンケート調査の結果どのようなことがわかりましたか？

柑本委員長) アンケートは1月中旬に行いました。正会員・賛助会員265社中65社から回答をいただきました。まずISOの認証取得状況については、「品質ISO」「環境ISO」とも各10社が取得しており、「両方を取得」が30社もありました。これに対して「エコアクション21」については、「参加したい」が9社、「興味はあるが参加意思はない」は36社でした。ISOと違ってエコアクション21はいまひとつ浸透していないようです。

Q エコアクション21はISOと何がどのように違うのでしょうか？

柑本) ISOは公的な認定機関が認証するもので、条件がとても厳しい。認証取得した後も、毎年更新チェックを受けなければいけない。P(計画) - D(実行) - C(チェック) - A(修正)というサイクルを守っていく必要がある。

Q では、エコアクション21は簡単に取得できるのでしょうか？

柑本) エコアクション21は正式には「エコアクション21グリーン化プログラム」です。まずエコアクション21の認証・登録を目指す事業者を募り、地元のエコアクション21地域事務局と審査人の協力のもと、より多くの事業者が短期間で効率よくエコアクション21に取り組むための普及プログラムです。

参加事業者は、地元のエコアクション21地域事務局が開催する「エコアクション21の塾」(集合形式で全4回程度)を無料で受講することができ、審査人からエコアクション21の解説や具体的な取り組みのアドバイスを受けることができます。受講から半年程度で、審査を経て、認証・登録に至ることが可能です。

Q 簡単に取得できるのに、もうひとつ浸透していないのはなぜですか？ 取得してもメリットが少ないということでしょうか？

柑本) そういうわけではないのですが、エコアクション21は、国の環境基本計画で位置づけされ、ガイドラインを環境省が策定し、2005年から認証制度が開始されました。ISO14001よりも歴史が浅く、その点では、浸透していないという印象になるのではないのでしょうか。

しかしながら、現在、全国で約7000社が認証されており、注目度も増えています。また、入札でエコアクション21をISO14001と同様に優遇する自治体も増えてきています。

Q アンケートでは公的な認証を取得する意思についても伺っていますね。

柑本) 「取得したい」と考えている企業は15社。これに対して「取得したいが現在は考えていない」が12社でした。環境保護の大切さはわかっているが、「コスト削減などを迫られている状況の中では、ちょっと」と二の足を踏んでいるのではないのでしょうか。

Q 経営委員会ではエコアクション21を認証取得するための無料講習会の「構築スクール」を計画されていますね。

柑本) 24年度の事業として取り組みます。前段で、5月23日「エコアクション21説明会及び無料構築スクールのご案内」として、グリーン化プログラム始動前の説明会を実施します。説明会に参加頂いた会員企業で、是非、認証取得したいという意思をお持ちの会員企業を選定し、「構築スクール」を開催いたします。予定ですが、7月から4回くらい開きます。講師は未定です。大勢の受講を期待しています。

Q そのほかの取り組みとしては何か予定されていますか？

柑本) 費用や効果などをISOと比較して見せる簡単な案内文を作成して会員企業に配布し、理解を深めていただく取り組みを考えています。

ズームアップ



高齢者雇用安定法

政府は、希望者全員を65歳まで雇用することを企業に義務づける高齢者雇用安定法改正案を、先月9日閣議決定し国会に提出した。現在開催中の通常国会での法案可決、来年4月施行を目指している。

現在でも企業は、①定年延長、②定年廃止、③再雇用の、いずれかを選択し、定年以降も従業員を雇用しなければならないが、このうち再雇用は労使協定の締結により、健康状態や人事評価等による採否の基準設定が可能なことから、多くは③を選択し対象者を限定している。この基準の段階的廃止が法案の大きな柱で、労働者からみれば、希望すれば必ず再雇用されることになる。厚生年金の支給開始年齢が、平成25年度から37年度にかけて65歳まで引き上げられるので、国としては、年金、賃金ともに無い状態を回避する目的だが、再雇用の義務化に対し、民間企業からは人件費増につながる

等の声も上がっている。

ビルメン会社の立場でこれを見ると、人材供給源の縮減が懸念される。自社の従業員を継続的に雇用することはもとより、別の業界で定年退職された方を積極的に受け入れ、貴重な戦力としているのが私たちの業界では一般的である。定年退職後に職業訓練センターに入校、資格取得等の研鑽に励みながら再就職を目指す意欲が高い方が多くおられるのは皆さんご承知のことだろう。このように、斯業は高齢労働者の受け皿として大きな社会的役割を果たしてきたが、今後の動向を注視し雇用環境の変化に的確に対応する必要がある。以前、当協会機関誌「OBMこみゅにけーしょんず」(※)にあった「人生の中心に仕事を置かない生き方を望む層をターゲットにして業界に若者を取り込むべき」という示唆に富んだ説のように、労働力の確保という意味では、少し視点を変えた柔軟な考え方が必要になるかも知れない。しかし、全員再雇用と聞いた途端に、懸命に頑張る人とそうでない人が同じとは悪平等の極み、全体

的な勤労意欲低下を招く、と感じる私のような頭の固い者にとっては、新たな視点での受け入れはなかなか難しいことではあるが。

言うまでもないが、雇用は企業経営の根幹である。年金制度の綻びを補うためとはいえ、国が法律で雇用を強制することには違和感がある。厚生労働省が、約14万社を対象に調査した「平成23年高齢者の雇用状況」によれば、過去1年間に定年を迎えた43万4,831人のうち、継続雇用された人は32万71人(73.6%)、継続雇用を希望しなかった人は10万7,137人(24.6%)、そして、基準に該当せず離職した人は7,623人、僅か1.8%である。現行制度でも十分に機能していると思うのだが。

(広報委員・杉本伸司)

※平成22年新春号に掲載の小松伸多佳氏の論文「新雇用産業としてのビルメンテナンス業」。なお同号をOBMホームページでご覧いただけます。→http://www.obm.or.jp/obm_monthly/

24年度 第1回 理事会

4月13日(金) 協会会議室

1. 報告事項

①第12回理事会決定事項

- ・株式会社ワイテック入会承認
- ・定款改正案承認
- ・警備防災部会委員交代承認
- ・大阪府立高等職業技術専門学校(東大阪・南大阪校)合同企業説明会(2/16) 会員企業に6名の就職が決定、4月より勤務

2. 審議事項

- ①退会について/承認・毎日メンテナンス株式会社

- ②子ども絵画コンクール協賛について/承認

- ③平成24年度事業計画、予算案について/承認

3. 報告事項

- ①通常総会 議長・副議長について
- ②全国協会関係
- ③委員会・部会報告

4. その他

- ①次回理事会日程の変更について
全協理事会が4月27日(金)より26日(木)に変更

(水)で決定。

②文化体育活動に関する事業

- ・第38回ソフトボール大会の日程は、7月に3日間、8月に1日間の合計4日間で開催。
- ・ゴルフ大会の日程は、10月18日(木)、場所は、ふしおカントリーを予定。

③賛助会に関する事業

- ・協会会員に対する情報提供として、ミニ展示会や製品講習会等を、2~3回開催。

2. 平成24年度予算について

3. 各行事の担当者を決定した。

賛助会世話人会

3月6日(火) 協会会議室

賛助会世話人会主催講習会/ミニ展示会

1. 講習会 参加者41社59名

- ①ディバーシー株式会社
ホスピタルメンテナンスの最新事情
- ②ペンギンワックス株式会社
エネルギー環境と省エネルギー

2. ミニ展示会 参加者31社57名

- ①ディバーシー株式会社
- ②ペンギンワックス株式会社
- ③住友スリーエム株式会社

3月12日(月) 出席者11名 協会会議室

1. 平成23年度事業報告及び、平成24年度事業計画

2. 次期世話人会メンバーの選定と役員確定

公益・契約事業委員会

3月21日(水) 出席者15名 協会会議室

1. 分科会活動について

- ①大阪府立中之島図書館 インспекション実施についての概略報告をした。

2. 平成24年度事業計画書について

- ①調査研究に関する事業
入札制度、最低賃金制度、官製ワーキングプア等について調査研究に関する事業
- ・大阪府下の自治体における一般入札制度についての調査研究

委員会・部会

経営委員会

3月14日(水) 出席者22名

大阪ガスガスビル食堂会議室
大阪ビルディング協会、大阪ビルメンテナンス協会「合同経営委員会」

「効率的ビル管理&コスト削減」をテーマに意見交換を行ったところ、代表的なものとして次のような趣旨の発言があった。

(ビルディング協会から)

テナントに対して自ら賃料引き下げ提案を行う等、退去防止のためあらゆる行動をとっている。

(当協会から)

- ①オーナー側からの一方的な値下げ等の対応に苦慮している。

- ②意匠のみを重視した設計はメンテナンスが困難であるため、ランニングコストの削減という意味からも回避すべき。

青年部分科会

3月19日(月) 出席者4名

協会会議室

1. 青年部分科会の本年度事業活動内容について

勉強会

- ・ビルメンに関係する建築資材、顧客・関連企業へのヒアリングや勉強会を開催
- ・床材メーカー 東リへ床材メンテナンスについて、勉強会開催日 4月中旬
東リ大阪工場に訪問
3月21日に先方の窓口との打ち合わせ内容等確認、すりあわせ。
ビルメン事情勉強会開催

広報委員会

3月15日(木) 出席者9名 協会展示室

- 1. 「第5回ビルメン子ども絵画コンクール」入賞作品展示会の設営作業を行った。
- 2. 「OBMマンスリー」3月号の編集作業を行った。

総務友好委員会

3月14日(水) 出席者12名 協会研修室

平成24年度事業計画及び予算の検討

1. 平成24年度事業計画(案)について

- ①総会に関する事業
・臨時総会に関しては、平成25年3月27日

- ①恒常的な委託業務に係る一般入札制度についての調査研究
 - ②検査基準（インスペクション）の提案の推進
 - ③品質向上のための仕様の提案と積算
3. 平成24年度予算について
 4. 平成23年度事業報告書の修正案について
 5. 第4回政策入札研究フォーラムの案内について
 6. アビリンピック大阪大会について
日時：7月7日（土）
場所：大阪職業訓練支援センター（ポリテクセンター関西）

労務委員会

- 3月16日（金）出席者14名 協会会議室**
1. 6月22日開催労働安全大会について
 - ・安全衛生標語についての募集期間は5月10日締切。
 - ・今年度の安全衛生標語については、①業務災害②通勤災害については従来通りの標語を募集することとし、③健康促進については、「川柳」で募集するよう変更した。
 2. 無災害会員企業の申請募集について
 - ・発信文書の内容変更を決定した。
 3. 労働安全大会の特別講演について
 - ・「J. A. T. D にしゃんた」さんに依頼し、講演及び落語を行っていただくことを決定した。
 4. 平成24年度事業計画（案）について
「安全衛生関係規程集」の発行については、今後検討することとなった。また、「地下水害防止のための研修用DVD」の作成については、労務委員会で京大の施設に見学に行き、ビデオ撮影を行うことを決定した。
 5. 転倒・転落災害撲滅キャンペーンについて
 - ・印刷物については刷り上がり次第、各会員会社に発送することを確認した。
 6. 労働災害報告書について
 - ・2月度の報告企業は75件であり、業務災害発生は5件で通勤災害は4件の発生があり、内容報告が行われた。

ビルクリーニング部会

- 3月26日（月）出席者21名 協会会議室**
ビルクリーニング部会 全体会議
1. パワーポイントによる研究活動報告（要約）
 - * A班 中間取組み発表：山田班長による「(仮称)免許皆伝ビルクリーニング必読書新版」の主旨・目的・活用対象者等の説明、及び各章担当委員による内容・進捗状況の報告
 - * B班 中間取組み発表：西岡班長による「(仮称)床材別トラブル事例と対処法」の主旨・目的説明、及び活用方法の紹介
 2. 外部講師による講演（要約）
「CS向上への取り組みで『清掃業』から『清掃サービス』へ」
株式会社ジェイアール西日本メンテック
総合企画部次長 小串修 様
弊社は、18年前関西空港の誕生を機に3Kの代表といわれた従来の清掃を見直し、国際空港に相応しい清掃のあり方を目指したAZZチームを発足させ、大きな成果を挙げてきました。
AZZチームの取組みは、CS向上への取組みそのものでありその経緯と現状、課題についてお話しさせていただきます。
我々の取組みが、少しでも、みなさま方の業務の参考になれば幸いです。
以上、パワーポイント・ビデオ・配布冊子

「AZZ SYSTEM OPERATION GUIDE BOOK」による取組み発表

警備防災部会

- 3月23日（金）出席者16名 協会会議室**
1. 研修会のまとめ
警備員実務研修会の実施結果の報告
 - ①研修会の議題、時期、開催時間について
 - ②警備防災部会の活動についての意見要望
 - ③教育、研修資料（配布資料について）
 - ④問題点と今後の対策
 - ⑤警備業務に関する質問について解説があった。
 2. 平成23年度警備防災部会活動報告書の配布
 3. 新年度事業計画と予算について
 4. 「大規模災害時における応急対策業務等に関する協定」について

設備保全部会

- 2月23日（木）出席者28名**
ヤンマー株式会社特機エンジン事業部尼崎工場
ヤンマー株式会社工場見学会
1. 工場概要
尼崎工場はヤンマー株式会社特機エンジン事業本部内の工場として、大形ディーゼルエンジン・ガスタービンを主に製造・出荷しており、オーダーにより生産を行っている。
生産台数は年間約2,500台を占めており、船用補機80%、船用主機10%、陸用機関10%の比率で主体は船用であり、生産は24時間稼働で徹底したラインの効率化・自動化を行い操業している。
 2. 工場見学
工場内見学では参加者を2班に分け、案内者より製造工程の順序により現場説明を受けた。
製造工程は機械工程→組立工程→艀装工程→運転工程→検査工程→出荷工程となり、現場作業場での効率化を追求しているのが随所に窺われた。特に作業をしている管理技術者(680人)が少ないのが気になったが、徹底した自動制御化により作業者を限界まで削減している事が、工場内を見学して理解できた。
又、作業員の方々が丁寧な挨拶をして頂き、ホスピタリティ教育が良く行き届いていると感じた。

- 3月13日（火）出席者8名 協会会議室**
管理技術調査研究小委員会
1. 平成24年度の事業計画について
平成23年度と同じく非常用電源についての研究とする。
 2. 技術レポート「非常用電源について」の内容確認を行うとともに、その分担及び平成24年6月中に作成するスケジュールを決定した。

- 3月27日（火）出席者17名 協会会議室**
設備保全部会第11回委員会
1. 各小委員会活動報告（管理技術調査研究）
 - ・技術レポート「非常用電源」についての内容確認と委員の分担および作成スケジュールの報告（研修・見学会）
 - ・ヤンマーディーゼル尼崎工場見学（2月23日（木）実施）についての報告（環境衛生業務研究）
 - ・ビル緑化見学会（3月23日大阪市環境経

営推進協議会主催）についての報告

近畿地区本部だより

- 平成23年度ビルクリーニング技能検定結果発表**
平成24年3月31日に、平成23年度ビルクリーニング技能検定の合格者が発表されました。
平成23年度の全国での受検者数は3,004名、合格者数1,407名で合格率は46.8%、近畿地区だけをみると、受検者数448名、合格者数183名で合格率は40.8%という結果でした。
受検された方は、合否を（公社）全国ビルメンテナンス協会ホームページにある「ビルメンアビリティセンター」で検索できます。（<http://study.j-bma.or.jp>）
なお今年度より、合格発表日当日に郵送する合格通知書・一部合格通知書、合格者へ交付する合格証書及び技能士章の交付方法については、全国協会本部より宅配便を用いた合格者の自宅への直送に変更になりましたのでご承知置き下さい。

- 世界ビルサービス連盟が“健康のための清掃報告書”を発表**
世界ビルサービス連盟（WFBSC）は、2011年2月、ニュージーランドで開催された世界大会において、「健康のための清掃」を今後の優先テーマとすることを決定し、連盟のホームページに“Cleaning for Health”の特設ページを開設、レポートを発表しました。
この報告書では、今日の地域衛生の脅威として最も頻繁にみられる各病原体に関する有益な情報、ならびに、それらの病原体を様々な方面や環境から取り除く方法を提供しています。世界ビルサービス連盟公式サイト（<http://www.wfbsc.org/>）で日本語でも紹介されていますが、OBMホームページからもダウンロードできるようにいたしましたのでご覧下さい。

会員だより

- 会員登録名及び住所等変更**
〔正会員〕
(新)大成有楽不動産株式会社 関西支店
〒541-0053
大阪市中央区本町4-1-7 第二有楽ビル
TEL 06-6262-1601 FAX 06-6262-1631
(旧)大成サービス株式会社 関西支店
(平成24年4月1日より)
- 代表者変更**
〔正会員〕
・株式会社大阪ガスファシリティーズ
(新)代表取締役社長 葉野 正典 様
(旧)代表取締役社長 迫間 隆 司 様
(平成24年4月より)
・大林ファシリティーズ株式会社
(新)常務取締役大阪支店長 後藤 澄 男 様
(旧)代表取締役大阪支店長 宮崎 盛 様
(平成24年4月より)
・共同総合サービス株式会社
(新)代表取締役 田中 卓 様
(旧)代表取締役 井手ノ瀬廣明 様
(井手ノ瀬廣明氏は取締役に就任)
(平成24年4月より)
・互光建物管理株式会社
(新)代表取締役社長 浅田 晃 洋 様
(旧)代表取締役社長 長元 重利 様
(長元重利氏は代表取締役会長に就任)
(平成24年3月より)
・神鋼不動産株式会社 大阪支店
(新)支店長 稲岡 秀樹 様
(旧)支店長 野田 辰則 様
(平成24年4月より)

・大成株式会社 大阪支店
(新)支店長 山根 俊一様
(旧)支店長 吉田 明生様
(平成24年4月より)

●退会

[正会員]

・毎日メンテナンス株式会社
(平成24年3月31日付)

講習会のお知らせ

◆近畿地区本部だより

●平成24年度(第19回)病院清掃受託責任者講習のご案内

- ・講習日程 近畿1回目 8月27日(月)、28日(火)
近畿2回目 9月10日(月)、11日(火)
 - ・会場 大阪国際会議場
 - ・募集人員 近畿1回目 新規230名
再300名
近畿2回目 新規100名
再100名
 - ・受付期間 4月16日(月)～27日(金)
 - ・受講料 会員 新規29,000円
再26,500円
- 【会員の場合、JASMIN IDが必要です。不明な場合はJASMINホームページ(<http://www.j-bma.or.jp/member/login.php>)で照会下さい。】
- ・受講資格 新規 医療機関の清掃業務を含む清掃

業務に3年以上の経験を有する者。新規講習の案内は、大阪協会事務局までご連絡いただくか、全国ビルメンテナンス協会アビリティセンター(<http://study.j-bma.or.jp>)でダウンロード、もしくはネット申請(受付期間中)もできます。

再講習 平成20年度の講習を受講された方。該当の方へは全国ビルメンテナンス協会本部より直接講習案内を送付いたします。前回と送付先が変わっている方は、至急変更手続きをお願いいたします。「申請事項変更届」は事務局にございます。再講習の案内は、全国ビルメンテナンス協会アビリティセンター(<http://study.j-bma.or.jp>)でダウンロード、もしくはネット申請(受付期間中)もできます。なお、修了証書の有効期限は4年間となります。一度有効期限が切れた方は、恐れ入りますが新規講習を受講下さい。

◆訓練センターだより

- 平成24年度ビル設備管理技能検定受検準備講習のご案内
- ・受付期間 4月16日(月)～5月15日(火)
- ・受講資格 平成24年度1級または2級ビル設備管理技能検定の受検申請手続きを済ませた方で、事業主から推薦を受けた方。

※受講案内をご希望の方は、事務局までご連絡いただくか、(財)建築物管理訓練センターのホームページからダウンロードして下さい。

◆ビル管理教育センターだより

- 貯水槽清掃作業監督者(再)
平成24年6月26日(火)～27日(水)
於 阪急千里中央ビル
受付 平成24年5月8日(火)～14日(月)
- 排水管清掃作業監督者(再)
平成24年6月28日(木)～29日(金)
於 阪急千里中央ビル
受付 平成24年5月10日(木)～5月16日(水)
- 統括管理者(再)
平成24年7月2日(月)～7月3日(火)
於 阪急千里中央ビル
受付 平成24年5月14日(月)～18日(金)
- 清掃作業監督者(新規)
平成24年7月10日(火)～11日(水)
於 阪急千里中央ビル
受付 平成24年5月22日(火)～28日(月)
- 貯水槽清掃作業監督者(新規)
平成24年7月24日(火)～27日(金)
於 阪急千里中央ビル
受付 平成24年5月31日(木)～6月6日(水)

※平成21年度より(財)ビル管理教育センターへ直接、用紙の請求・申し込みをしていただくことになりました。申し込み期間に提出できるよう、早めに申込用紙を請求してください。(TEL 06-6836-6605)

フェイスブック…

理事 荒木 周

全世界でアクティブ利用者が8億人を超え、ここ数年爆発的に増えている。Google、Yahooをおさえて世界一アクセスされるソーシャル・ネットワーキング・サービスとなった。利用料は無料、基本のルールは実名、実年齢で登録すること。

8億人以上をつなぐネットワークは情報統制が行えず政治的脅威ともなりうるのか、中国などでは厳しい利用制限がされている。

8億人の個人情報を持っているだけでもすごい、写真や動画をアップロードできるが容量制限がないのも実はすごいこと。フェイスブックが近々上場する際の時価総額が10兆円といわれている。昨年の売り上げは3,000億円。まともを考えればこの評価(年商の33倍)は異常である!

このフェイスブックを始めて一年足らずの間に友達が65人できた。多いか少ないかといえば少ないほうだと思う。知人でない場合は、本人写真がない方とは友達にならない

ようにしている。65人の内、面識のない方31人、外国の方29人。ビルメン関係の方11人。

昨年の11月に「三稜中学校47期生の荒木くんですか…」とフェイスブックにメッセージが入った。中学校を卒業してから十数回引越しをしているので、私は同窓会の消息不明リストに入っていたらしい。数日のうちに数名の同級生からメッセージが届いた。「藤本君から荒木を発見したと聞いた…」「今どこにおるん…住所を知らせて…」「12月にミニ同窓会をするから来いよ…」てなわけで37年ぶりぐらいに中学校の同窓会に顔を出す。さすがに37年の月日は長く、名前と顔がほとんど一致しない、「お前何組やった…」「いや何組か覚えてない…」「担任の先生は?」「たしか家庭科の先生やったような…」「小谷先生や! それやったら10組や、俺9組やったから…」などとローカルネタで騒ぎながらウーロン茶を飲むこと3時間、話し方やしぐさで、だんだんと顔と名前が一致してくる。「人間の記憶は凄いな…」と自分の記憶力に自画自賛。

フェイスブックに登録していなければいまだに消息不明のままだった。とりあえずフェイスブックに感謝!!

労働者労災通災報告書の提出についてのお願い

会員企業の皆様から毎月協会宛にご提出頂く「労働者労災通災報告書」は、毎年6月発行の「労働災害発生状況に関するレポート」の基礎資料としており、「無災害企業安全表彰」の表彰(申請)基準に同報告書提出実績が対象となります。

また、全国ビルメンテナンス協会の労働安全施策、労災収支改善の取り組みに統計上欠くことのできない貴重な資料としております。

会員企業各位には、本書主旨をご理解頂き必ずご提出下さるようお願いいたします。なお、労災通災がゼロの場合も報告書の「本月は無災害です」の箇所に○印を付けていただき、ご提出頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

報告書の用紙は、「労働災害発生状況に関するレポート」最終ページをコピーして頂くか、OBMホームページの「コンテンツ/毎月提出:労働者労災通災報告書」からダウンロードをお願いします。

*報告書は翌月10日必着で協会にFAXしていただきますようお願いいたします。 労務委員会

労務委員会 労働災害事故事例 (H24年2月度発生分より)

2月度の報告企業数75社、業務災害は5件、1カ月以上の休業見込みは3件で、8日未満が2件という結果で、通勤災害は、4件、1カ月以上の休業見込みは2件で、その他2件でした。今回は通勤時の自転車による転倒災害のケースをご紹介します。

2月19日午後5時15分頃、帰宅途中の道路上で自転車走行中、うしろから車が来たため左に寄った所、歩道の縁石に前輪があたり、歩道側へ転倒し左手首を骨折し、休業見込み60日となった事例です。昨今、自転車による通勤災害が多発しているとの報告もあり他山の石としたい。

OBM行事予定

4月	25	水	総務友好委員会 賛助会世話人会
	26	木	理事会
	27	金	
	28	土	
	29	日	昭和の日
5月	30	月	振替休日
	1	火	
	2	水	
	3	木	憲法記念日
	4	金	みどりの日
	5	土	こどもの日
	6	日	
	7	月	
	8	火	ビルクリーニング部会 KKC理事会
	9	水	経営委員会
	10	木	
	11	金	ビルメン営業スキル強化研修(淀屋橋サンスカイルーム)
	12	土	
	13	日	
	14	月	
	15	火	KKC決算監事会 KKC電気設備コース
	16	水	公益・契約事業委員会 労務委員会 //
	17	木	警備防災部会
	18	金	
	19	土	
20	日		
21	月		
22	火	近畿地区定例会 KKCグリーンメンテナンス実技講座	
23	水	経営委員会エコアクション21説明会	
24	木		

ビルメン情報プラザ Obit (オービット) 通信

新刊のご案内

・ビルメンテナンス情報年間2012
公益社団法人全国ビルメンテナンス協会
平成24年2月22日発行
TEL: 03-3805-7560
<http://www.j-bma.or.jp/>



・70歳いきいき企業100選 2011版
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
平成23年10月発行
TEL: 03-5400-1655
<http://www.jeed.or.jp>



・大阪府内の企業の高齢者雇用事例から
～年齢に係わりなく働ける社会を目指して～
大阪高齢・障害者雇用支援センター
平成24年3月発行
TEL: 06-4705-6927
<http://www.jeed.or.jp>



※ビルメン情報プラザ Obit (オービット) では、閲覧のみになります。
購入ご希望の方は、発行元にお問合せ下さい。
開館時間 10:00～16:00 (土・日・祝休)
会議等でご利用になれない時もありますので、ご利用の際は事前にお問合せ下さい。

KKCお薦め講習会 (5月)

平成24年5月実施予定の、KKC主催の講習会は次のとおりです。多数の方のご受講をお待ちしています。定員がございますのでお早めにお申し込み下さい。

●大阪府認定職業訓練
「電気設備コース (低圧電気取扱者特別教育併催)」

電気設備の取り扱いについて安全に配慮しながら適切な管理を遂行するための知識と技能を、講義と実習により学んでいただきます。講習会修了者には認定訓練の修了書と、携帯に便利な「低圧電気取扱者特別教育講習修了証」を交付いたします。

<対象> 電気設備管理従事者・担当者
<日時> 平成24年5月16日(水)～17日(木)
2日間とも午前10時～午後5時
<定員> 30名

●グリーンメンテナンス実技講座

樹木医の資格を有する経験豊富な講師から、ビルメンマンとして知っておくべき、植栽管理・グリーン管理について学んでいただきます。

<対象> 植栽管理従事者・担当者
<日時> 平成24年5月22日(火) 午後1時～4時30分
<定員> 20名

申込・問合せ先: 一般社団法人関西環境開発センター
教育訓練部
電話: 06-6372-9123
FAX: 06-6450-8038
E-mail: bmkcc@swan.ocn.ne.jp

「第5回ビルメン子ども絵画コンクール」
大阪地区入賞作品展示会を開催しました。

全国ビルメンテナンス協会が主催した「第5回ビルメン子ども絵画コンクール」の入賞作品の展示会を、3月21日から28日まで当協会1階にあるビルメン情報プラザ Obit (オービット) で開催しました。入賞された子供たち34名、ご家族の方71名、総勢105名の方に来館いただきました。ありがとうございました。



編集雑感

この時期には毎年、コラムにて花粉症について書かせてもらっている。今年も例年通り、のどがいがらっぽく、鼻頭がむずむずする。そしてこの時期は、春の交通安全週間でもあり、街角に交通取り締まりの警察官の姿が多くなる。無意識のうちに、運転も普段より丁寧になり、スピードメーターにも気を付けて運転するようになる。それで事故が減るならば、もっと警察官に道々に立ってもらえると

防犯にもつながるのにも思う。

日本では、10年前より車とバイクの台数が少し増えただけだが、事故の件数は2割ほど減っており、死亡事故は半分に減っている。テレビ番組でもよく取り上げられているが、アジアでは、経済成長の影響もあり、車やバイクの出荷台数がすごい勢いで増加している。それに伴い、交通事故もすごい勢いで増えている。ルールや信号などのインフラが整う前に、車などの台数が増えていると考えられる。

日本では信号の数は増えており、車の性能も格段に良くなり、事故を防ぐ機能も進化している。危険な交差点も順次改善され、道路も整備されている。

安全を守るためのルール、命をまもる設備、そして、やはり運転者が、事故を起こさないように常に心がけ、注意を払い運転することが、事故を減らし、死亡事故も減らすのだと思う。我々の仕事においても同じで、設備や道具を整備し、ルールを守り、常に注意を払い行動する心が事故を無くす。(T・K)